

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	16	課題区分	B	令和7年3月25日	
横断的な課題							
地域重点政策		3 地域の中で安心して生活できる環境を整え、次の世代につなぐ				北アルプス地域振興局	
実施機関		大町保健福祉事務所		担当課	所属	福祉課	
事業名		障がい者スポーツが地域に普及し相互理解が進む事業			電話	0261-23-6508	
					E-mail	omachiho-fukushi@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	ボッチャやフライングディスク等のスポーツ・リクレーションを共に楽しみながら交流を深め、障がいのある人もない人も一人一人の違いを認め合いながら共に生きることのできる地域をつくる。					
	現状と課題	2020東京パラリンピックの開催等により、パラスポーツ(障がい者スポーツ)については広く認知されつつあるが、障がいのない人(健常者)による体験会が主になっており、障がいのある人となない人が共にスポーツ・リクレーションを楽しむといった機会は、北アルプス地域ではまだ少ない。 なお、令和10年(2028年)に長野県で開催される第27回全国障害者スポーツ大会では、大町市内を会場に競技が計画されており、パラスポーツの理解促進が期待される。					
	内容 (変更後の内容)	○ボッチャ等体験講習会の開催 共生社会への取組に関心があり、学んだ知識・技術を地域活動に活かしたい方等を対象に、ボッチャ等のパラスポーツ体験講習会を関係機関と協働して開催する。大北圏域の体育館又は公民館を会場に市町村等の協力を得て秋以降に1回の開催を予定。 ○パラスポーツ用具の貸出 ボッチャ及びフライングディスクを地域に普及するため、用具の貸出を行う。					
	事業期間	令和6年4月 ～ 令和7年3月					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等		実施内容	計画(実績)額	備考		
	ボッチャ等体験講習会の開催 パラスポーツ用具の貸出	ボッチャ等体験講習会の開催	30,945	講師謝金:14,175円 講師旅費:1,270円 参加賞:15,500円(障がい者就労施設からの優先調達)			
		ボッチャ、フライングディスク体験のための用具貸出	0				
	合 計			30,945			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	ボッチャ等体験講習会アンケート結果 満足度		回答者の6割以上	89%	● 達成		
	ボッチャ等体験講習会の参加人数		15人以上	117人	○ 一部達成		
	パラスポーツ用具の貸出		5回以上	5回	○ 未達成		
事業実績・成果	○ボッチャ等体験会の開催 11月に開催された大町市文化祭にパラスポーツ・手話体験ブースを出展。ボッチャ、フライングディスク、手話の3つのブースを設け、スタンプラリー形式で体験。10代未満から80代まで、117人の幅広い世代の参加があった。「誰でも楽しめてよい。ルールが意外と簡単で楽しかった。手話をやりたくなった。」等の意見があり、満足度は89%と高い評価を得た。 また、6月に開催した大北地区障がい者運動会(参加者318名(選手等271名、スタッフ等47名))では、体験と競技を組み合わせたプログラムにより、障がいのある人もない人も一緒にパラスポーツを楽しむことができた。(満足度98%) ○パラスポーツ用具の貸出 ボッチャ、フライングディスク用具の貸出をホームページで周知しており、県障がい者スポーツ大会の練習や小学校でのボッチャ教室の開催のための借用希望があり、計5回の貸出を行った。						
今後の方向性	パラスポーツ等体験の場の提供により、パラスポーツ競技人口を増やすとともに、障がいのある人もない人も共に生きる共生社会づくりについて理解促進を図る。						